

# CASBEE® 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	久岐通商(株)第2物流センター第1	階数	地上1F
建設地	福岡県北九州市若松区南二島5丁目	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法22条区域	平均居住人員	0人
気候区分		年間使用時間	4,500時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年2月 予定	評価の実施日	2011年9月29日
敷地面積	4,139 m <sup>2</sup>	作成者	甲斐 邦三
建築面積	2,828 m <sup>2</sup>	確認日	2011年9月30日
延床面積	2,828 m <sup>2</sup>	確認者	甲斐 邦三

外観/パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
①参照値: 100%  
②建築物の取組み: 83%  
③上記+②以外のオンサイト手法: 83%  
④上記+オフサイト手法: 83%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.7

**Q1 室内環境** Q1のスコア = 0.0

音環境	N.A.
温熱環境	N.A.
光・視環境	N.A.
空気環境	N.A.

**Q2 サービス性能** Q2のスコア = 3.5

機能性	N.A.
耐用性・信頼性	2.9
対応性・更新性	4.2

**Q3 室外環境(敷地内)** Q3のスコア = 2.1

生物環境	1.0
まちなみ・景観	3.0
地域性・アメニティ	2.0

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.7

**LR1 エネルギー** LR1のスコア = 4.0

建物の熱負荷	N.A.
自然エネルギー	3.5
設備システム効率化	5.0
効率的運用	3.0

**LR2 資源・マテリアル** LR2のスコア = 3.7

水資源保護	3.0
非再生材料の使用削減	3.6
汚染物質回避	4.3

**LR3 敷地外環境** LR3のスコア = 3.4

地球温暖化への配慮	3.6
地域環境への配慮	3.7
周辺環境への配慮	3.0

3 設計上の配慮事項		その他
<p><b>総合</b></p> <p>注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。倉庫業を営む倉庫で、主に鋼材を取扱い、天井クレーンが行き来します。トラックの出入りに支障がないように、開口を広く取るプランとした。又、MLを事務所とは別に造り、増築を見込んでいます。</p>		<p>注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。</p>
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。作業員の健康を考慮し、内部壁全面にF☆☆☆☆の「アサカボート」を使用しています。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。建物内は禁煙で、喫煙場所は敷地内に部分確保しています。</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。敷地内は十分な駐車スペースがあり、トラック等が待機・休憩できます。又、緑化に関しては、トラックの出入りや駐車等の邪魔にならない所にプラン</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。環境配慮型照明器具等を使用し、省エネ仕様のプランとしています。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 ■LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい